



* 総合診療科 * スタッフのご紹介 *



院長／
総合診療科主任部長
加藤 良太郎
(かとう りょうたろう)

○ 専門分野
・内科一般
・集中治療医学



呼吸器病センター長／
呼吸器病センター(呼吸器内科)
主任部長
粟屋 幸一
(あわや ゆきかず)

○ 専門分野
・呼吸器疾患全般
・間質性肺疾患
・感染症



院長補佐／
内科統括部長
塚本 雄介
(つかもと ゆうすけ)

○ 専門分野
・腎臓内科

- 専門医認定／資格など
- ・厚生労働省麻酔科標榜医
 - ・米国内科学会(ABIM)内科専門医
 - ・米国内科学会(ABIM)集中治療医学専門医
 - ・米国ニューヨーク州弁護士
 - ・日本内科学会認定医
 - ・日本内科学会総合内科専門医
 - ・厚生労働省臨床研修指導医講習会修了

- 専門医認定／資格など
- ・日本呼吸器学会専門医／指導医
 - ・日本感染症学会専門医／指導医
 - ・ICD制度協議会
 - ・インフェクションコントロールドクター(ICD)
 - ・日本内科学会認定医／専門医／指導医
 - ・厚生労働省臨床研修プログラム 責任者講習会修了
 - ・厚生労働省臨床研修指導医講習会修了
 - ・医療系大学間共用試験実施評価機構 共用試験医学系OSCE評価者認定講習会修了

- 専門医認定／資格など
- ・日本内科学会認定医／指導医
 - ・日本腎臓学会指導医
 - ・日本透析医学会指導医
 - ・厚生労働省認定難病指定医
 - ・東京都身体障害者福祉法指定医 (腎臓機能障害の診断)

総合診療科医長
小坂 鎮太郎
(こさか しんたろう)

○ 専門分野
・内科一般

○ 専門医認定／資格など

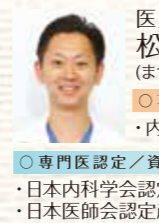
- ・緩和ケア講習会修了
- ・高齢者総合機能評価修了
- ・嚥下機能評価研修修了
- ・日本臨床倫理学会臨床倫理認定士
- ・指導医講習会修了
- ・プライマリケア指導医講習会修了

医員
安本 有佑
(やすもと ゆうすけ)

○ 専門分野
・内科一般

○ 専門医認定／資格など

- ・日本内科学会認定医




医員
松本 祐昂
(まつもと ゆたか)

○ 専門分野
・内科一般

○ 専門医認定／資格など

- ・日本内科学会認定医
- ・日本医師会認定産業医



医員
伊藤 翔
(いとう つばさ)

○ 専門分野
・内科一般

○ 専門医認定／資格など

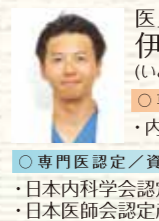
- ・日本内科学会認定医

医員
嘉手納 壮志
(かてな そうし)

○ 専門分野
・内科一般

医員
本橋 健史
(もとばし けんじ)

○ 専門分野
・内科一般




医員
伊藤 涼
(いとう りょう)

○ 専門分野
・内科一般

○ 専門医認定／資格など

- ・日本内科学会認定医
- ・日本医師会認定産業医



医員
角野 太郎
(すみの たろう)

○ 専門分野
・内科一般



「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
今年には東京オリンピックが開催されます。
私たちは、「世界に誇れる医療」で皆様の健康を守ります。

昨年11月1日に板橋中央総合病院の4代目院長に就任させて頂きました。日本の医療は大きな変革期を迎えましたが、その中で地域の皆様の健康と幸せを守るために私たちが果たすべき役割を考えると、院長としての責任の重さを感じます。

近年、医学の目覚ましい発展により、抗癌剤をはじめとして、高額な治療法が次々に登場しています。しかし、日本の人口は3割近くが65歳以上の高齢者となり、医療そのものの役割が見直され始めてもいます。一方、働き方改革は医療従事者にも近々適応される予定であり、病院における診療体制の変更も避けては通れません。

板橋中央総合病院は、厚生労働省より「DPC特定病院群」に指定された急性期病院です。大学病院本院に準じた診療機能を有しており、高度な医療の提供や、重症患者様の診療にも積極的に対応しています。そして、それらをIMSグループ特有の親しみやすい形で提供することが、私たちの特徴です。

例えば、診断のついていない患者様が何科にかかったら良いのか分からないような、医者目線の縦割り医療ではいけません。どんな症状を持っていても速やかに対応できる総合診療科を設置し、患者様目線の「横軸の医療」を提供しています。また、高度な医療が必ずしも求められる医療であるとは限りません。症状の緩和のみを希望される患者様も少なくないため、緩和ケアにも注力しています。

患者様の視点に立つと、今までの医療だけでは対応できないことが多々見つかります。板橋中央総合病院は、グループ内外の回復期や慢性期の病院および診療所との連携も通して、これまでになかった医療を創造し、それぞれの患者様のニーズに応えることができるよう、全力投球していきます。

今年も皆様からのご支援・ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

院長／総合診療科主任部長
かとう りょうたろう
加藤 良太郎

病院・介護施設選びに困ったら
二次検査(再検査・精密検査)の病院選びに困ったら
イムス総合サービスセンター(GSセンター)へ!

メールでカンタン!
IMSグループ病院での受診相談(無料)

gscenter@ims.gr.jp

○ 右のQRコードをご利用いただくと便利です。
○ 24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。

0800-800-1632

※[050]からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間/平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30
(日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンター
http://www.ims.gr.jp/gscenter/

相談 GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を! 相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

情報提供 IMSグループ医療機関の選定 医療機関・制度などの情報提供。GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など

受診決定 ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定!
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間(予約含む)・対象者さま基本情報等の連絡
【入院(所・回)・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

板橋中央総合病院 地域広報誌
PLAZA IMS(プラザイムス) Vol.58 新年号
発行:板橋中央総合病院 企画広報室
発行日:2020年1月

IMS(イムス)グループ 医療法人社団 理事長
板橋中央総合病院
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7
TEL.03(3967)1181

— 理念 —
安全で最適な医療を提供し、
「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

〈基本方針〉 Fundamental Purpose

1. 二次救急指定病院として「断らない医療」を提供するために全力を尽くす。
2. 地域中核病院として地域連携を強化し、紹介・逆紹介に注力して地域包括ケアシステムに貢献する。
3. IMSグループ基幹病院として接遇マネーとコミュニケーション能力を備えた職員を育成する。

総 合 診 療 科 の ご 紹 介

板橋中央総合病院の総合診療科は、当院の基本方針である「二次救急指定病院として『断らない医療』を提供するために全力を尽くす」ためにあります。

皆様の中には、熱が出て調子が悪いけれど、なぜ熱が出ているか分からないという理由で、病院でたらい回しされた経験はございませんか?あるいは、検診で腫瘍が見つかったけれど、原発巣が分からないから何科に行っても良いのかわからなかった、そういった経験はございませんか?

総合診療科では、どのような症状でも、たとえ診断がついていなくても、まずは初診外来にて対応させて頂きます。また、重症な患者様の場合には、救急外来にて早急に対応させて頂きます。



初診外来担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前 9時～12時	梶	梶・湊	梶	梶	湊	山田
午後 2時～5時	担当医	栗屋	湊	横江	塚本	

昨年は、800名以上の重症患者様に対して、入院加療をさせて頂きましたが、以下のように、特定の臓器に限定されない診療を行っています(2019年1月1日から10月31日まで)。実際には、120以上にわたる幅広い数の疾患に対応させて頂きました。

病 名	件 数
感染症	55
内分泌、栄養および代謝疾患	101
精神疾患	4
神経疾患	74
耳鼻疾患	13
循環器(心臓および血管)疾患	116
呼吸器(肺)疾患	197
がん	14
血液疾患や免疫の異常	11
消化器(肝臓や消化管)疾患	35
皮膚疾患	9
筋肉や骨の疾患	30
腎臓や尿路の疾患	114
外傷や中毒など	80
合 計	854

この中でも、特に多く診させていただいている疾患は、以下の通りです。

病 名	件 数
肺炎	105
脳梗塞	67
大腿骨近位部骨折	58
尿路感染症	51
敗血症	33

大腿骨の骨折をなぜ総合診療科が診ているのか疑問に思われた方が少なくないかもしれません。実は、大腿骨の骨折は高齢者に多く発生するため、必然的に複数の内科的疾患を有する患者様が多いのです。たとえ手術が上手くいっても、肺炎や深部静脈血栓など、内科的疾患の合併症が少なくありません。当院では、周術期は整形外科、内科的管理は総合診療科と役割分担をして連携をとることで、高齢の骨折患者様でも安全な医療を提供しています。

このように、総合診療科では、各科と連携をとりながら、患者様目線の「横軸の医療」を提供できるように心がけております。何かお困りのことがございましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。